

宇治茶実践型学舎の一番茶期実習・現地研修を実施

当所では、一昨年度から宇治茶実践型学舎を開講し、新規に宇治茶生産農家を目指す担い手の育成を進めています。一昨年12月に1期生、昨年11月に2期生が1名ずつ入舎し、研修を進めています。

4月30日～5月21日に当所の一番茶期の摘採・製造実習および一番茶期の茶市場、現地の茶工場での研修を実施しました。

学舎生にとって、年に一度の貴重な一番茶期の作業経験であり、摘採機の取扱いや揉み茶・てん茶製造を学ぶとともに、茶市場の状況や実際の農家での茶製造などについて熱心に実習を行いました。

6月以降は、南山城村において複数の生産者の元で現地研修を行い、茶業技術の習得や農業者との信頼関係を深め、就農に向けた準備を進めます。



被覆茶の摘採実習（当所）



揉み茶の製造実習（当所）



品質鑑定研修（JA 全農茶市場）



てん茶農家での現地研修（南山城村）

農林センター（茶業研究所）